



《2月》 焼火神社へ初詣りに行こう！

2月9日（土）、小雨がパラつく中、体験隊隊員6名と保護者、スタッフを含めた16名で焼火神社へ初詣りに行ってきました！

中央公民館に集合して朝のあいさつを行った後、車で焼火山の駐車場まで移動し、登山開始。雨の影響で少し路面がぬかるんでいましたが、子どもたちはスイスイ登っていき、あっという間に社務所に到着しました。



今回は特別祈願をする参加者がいなかったため、本殿にお詣りした後は、さっそく恒例のお菓子をかけた宝引き大会を行いました。「ヨイヤッサのヨイヤッサ!!」という掛け声と同時に子どもも大人も本気で紐を取りにいき、当たると大喜びしていました。

また、みんなでおみくじを引いて「大吉だ!」と大喜びしたり、逆に凶が出て涙が出てしまう子もいたり、大変盛り上がりしました。



直会では式膳を頂く前の松浦宮司のあいさつや、初詣りについでの話をしっかり聞き、焼火神社の初詣りについて学ぶことができました。

ご飯を楽しみにしていた子どもたちは、白米、お味噌汁をたくさんおかわりしました。鯖の煮付けが特に好評で、綺麗に骨だけを残して食べた子もいました。逆に神葉は苦手な子が多く、保護者やスタッフに「代わりに食べてえ」と泣きつく場面も。



帰り道も上の子が下の子の面倒を見ながら下り、無事下山することができました。

快く受け入れてくださった松浦宮司さま、焼火神社関係者の皆さま、そして、ふるさと子ども体験隊に参加していただいた皆様ありがとうございました。



平成30年度のふるさと子ども体験隊の活動はこれにて終了ですが、今年度も「西ノ島とふれあい、西ノ島を楽しむ」活動をしていきたいと思いますので、たくさんの小学生・保護者のご参加をお待ちしています。

地域おこし協力隊だより ～しまシェフ～

これからもどうぞ
よろしくお願いします！



皆さま、こんにちは。しまシェフのラッセル・ステファンです。

時が経つのは早いもので、地域おこし協力隊としての任期が3月31日で満了となり、4月からはキッチンカーで焼きたてのピザ販売を行うことになりました！

西ノ島の地域おこし協力隊として活動させて頂いた2年4ヶ月は、まず西ノ島(日本)の生活に慣れることから始まりました。日本語はわからない、文化も食べ物も違う、疲れを感じる時もありましたが、活動中にいわがきやサザエ、岩のりなど今まで扱ったことがなかった食材に出会い、和食を学ぶ機会にも恵まれ、調理師としてのスキルアップにつながりました。

そんな毎日の中で起業のアイデアが生まれ、それを実現するために地域の方々や職場の上司・仲間たちに協力していただきながら、ようやくお店のオープンを迎えることが出来ます。

お店の名前は **STEF PIZZA**(ステフピザと読みます！)、STEFは私のフランスでの愛称です。ピザはもちろん、ランチにサンドイッチやスイーツも提供して参りたいと思います。

皆さまに愛されるお店を目指して今後も頑張りますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

